

2022年度 決算のお知らせ

～特別勘定の現況～

【対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日】



この商品は、2009年3月31日をもって新規のお取扱いを停止させていただいており、一時投入保険料のお払込み（増額）のみのお取扱いとさせていただいております。一時投入保険料のお払込み（増額）をご検討いただく際には、必ず「特に重要なお知らせ」をあわせてご覧ください。

明治安田生命保険相互会社

ご契約の最新情報は

明治安田生命ホームページ

<https://www.meijiyasuda.co.jp/>

お問い合わせは

明治安田生命コミュニケーションセンター



ようこそ ハロー
0120-453-860

一時払変額個人年金保険（災害1割増型）の投資リスク

- ◆ この保険では、保険料を国内外の株式や債券等に投資する特別勘定で運用し、その運用実績によって積立金額が変動（増減）するため、ご契約者は、経済情勢や運用状況によっては一定の収益を期待できますが、一方で株式その他有価証券の価格変動と為替変動などに伴う投資リスクも負うことになります。運用実績によってはお受け取りになる返戻金額等が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被ることがあります。
- ◆ 運用実績の評価は、プラスの場合もマイナスの場合も、直接、死亡給付金額、返戻金額および将来の年金受取額等に反映され、すべての投資リスクはご契約者に帰属いたします。
- ◆ 特別勘定における資産運用では、主に以下の投資リスクがあります。

投資リスクの種類	投資リスクの内容
①価格変動リスク	株式、債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、有価証券の市場価格の変動を反映するため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
②金利変動リスク	債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、政策金利や市場金利が変動することにより公社債等の価格が変動するため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
③為替リスク	外貨建資産に対して投資する特別勘定では、運用資産の評価に使用する為替レートが変動することにより外貨建資産の価格が変動するため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。また、為替ヘッジを行う場合、円とヘッジ対象通貨との金利差相当額分のヘッジ・コストがかかります。
④信用リスク	債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、それらの発行体が、経営状況および財政状況の悪化や倒産等の理由により、利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことができなくなることがあるため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
⑤流動性リスク	株式、債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、流動性の低い株式や債券を売買する場合、売買を希望する時期に市場実勢から期待される適正な価格や希望する数量で売却できないことがあるため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
⑥カントリーリスク	海外の株式、債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、それらの投資対象国の政治・経済・社会状況の不安定化に伴う金融・証券市場の混乱により、投資対象国の資産価格が大きく変動することがあるため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。

特別勘定の種類と運用方針について

- ◆ 特別勘定の種類と各特別勘定で投資を予定している投資信託は当社が定めます。特別勘定では投資信託のほか、保険契約の異動等に備え一定の現預金等を保有します。
- ◆ 特別勘定の種類と特別勘定の運用方針については、今後変更することがあります。

特別勘定の種類 コード	運用方針	資産運用関係費 (投資信託の信託報酬) (年率)	組入れ投資信託の特色・主な投資リスク	
		投資信託委託会社		
バランス型 (株式20) 0401	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型証券投資信託「三菱UFJ MV20VA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行います。	実質1.06843%程度 (税抜実質0.97%程度)	三菱UFJ国際投信 株式会社	ファンド・オブ・ファンズ型の投資信託です。国内外の株式または公社債を主要投資対象とする、複数の投資信託証券に投資します。これらの投資信託は様々な運用スタイルをとる世界中の優れた運用会社に分散して運用委託されています。こうして投資対象資産と運用スタイルを分散することにより、リスクの軽減に努めつつ中長期的に着実な成長を図ることを目標として運用を行います。基準ポートフォリオは右記のとおりです。価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等があります。
バランス型 (株式40) 0402	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型証券投資信託「三菱UFJ MV40VA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行います。	実質1.16303%程度 (税抜実質1.06%程度)	三菱UFJ国際投信 株式会社	日本株式： 15% 外国株式（為替ヘッジなし）： 5% 日本債券・短期金融資産： 40% 外国債券（為替ヘッジあり）： 35% 外国債券（為替ヘッジなし）： 5%
バランス型 (株式80) 0403	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型証券投資信託「三菱UFJ MV80VA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行います。	実質1.35223%程度 (税抜実質1.23%程度)	三菱UFJ国際投信 株式会社	日本株式： 30% 外国株式（為替ヘッジなし）： 10% 日本債券・短期金融資産： 30% 外国債券（為替ヘッジあり）： 25% 外国債券（為替ヘッジなし）： 5%
日本株式型 0405	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行います。	0.385% (税抜0.35%)	三菱UFJ国際投信 株式会社	日本国内の株式に投資し、市場全体の動きをとらえて、東証株価指数（TOPIX）に連動する投資成果を目指して運用を行います。日本株式の価格変動リスク等があります。
外国株式型 0407	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ 外国株式ファンドVA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行います。	0.495% (税抜0.45%)	三菱UFJ国際投信 株式会社	日本を除く世界各国の株式に投資し、ベンチマーク〔MSCI コクサイ インデックス（除く日本 円換算ベース）〕に連動する投資成果を目指して運用を行います。原則として為替ヘッジを行いません。外国株式の価格変動リスク、為替リスク等があります。
日本債券型 0409	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ 日本債券ファンドVA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行います。	0.275% (税抜0.25%)	三菱UFJ国際投信 株式会社	日本国内の公社債に投資し、ベンチマーク（NOMURA-BPI総合指数）に連動する投資成果を目指して運用を行います。日本債券の金利変動リスク、信用リスク等があります。
外国債券型 0411	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ 外国債券ファンドVA（適格機関投資家限定）」に投資することにより行います。	0.385% (税抜0.35%)	三菱UFJ国際投信 株式会社	日本を除く世界各国の公社債に投資し、ベンチマーク〔FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）〕に連動する投資成果を目指して運用を行います。原則として為替ヘッジを行いません。外国債券の金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等があります。
マネー型 0412	コールローン等の短期金融資産に投資し、安定した利息収入を追求します。なお当該特別勘定では、明治安田生命が直接運用します。	資産運用関係費は かかりません	—	—

資産運用関係費について

- 資産運用関係費は主たる投資対象である投資信託の信託報酬を記載しております。投資信託の信託報酬は、投資信託の純資産総額に対して上記の所定の率を乗じたものです。また資産運用関係費には、信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかります。
- バランス型（株式20）、バランス型（株式40）、バランス型（株式80）に組み入れる各投資信託（三菱UFJ MV20VA、三菱UFJ MV40VA、三菱UFJ MV80VA）はファンド・オブ・ファンズ型の投資信託であるため、それ自身の信託報酬（各々、年率0.2805%（税抜0.255%））に加えて、投資対象となる各投資信託においても信託報酬がかかります。上表では両者を合わせた年率を表示しております。
- 公表されるユニット価格は、資産運用関係費および保険契約関係費を控除した後のものです。
- 資産運用関係費については、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

組入れ投資信託の詳細について

- マネー型を除く各特別勘定に組み入れる投資信託の基本的性格、投資方針、投資リスク等については、「特別勘定のしおり」に記載しております。

マネー型について

- マネー型が投資する安全性の高い短期金融資産は一般的に利回りが低いため、保険契約関係費を控除した後の積立金が継続的に減少することがあります。

特別勘定群について

- 一時払変額個人年金保険（災害1割増型）では、複数の特別勘定を含む特別勘定群を設定しています。
- 一時払変額個人年金保険（災害1割増型）の特別勘定群に含まれる特別勘定は前記のとおりです。ご契約の際、および特別勘定部分の積立金の移転の際にご選択いただける特別勘定は、前記の特別勘定および今後当社が本特別勘定群に追加する特別勘定に限ります。
- 当社の変額個人年金保険商品には、本特別勘定群とは異なる特別勘定群を設定した商品などがあります。詳細は明治安田生命コミュニケーションセンターにご照会いただくか、当社ホームページにてご確認ください。

保険契約関係費などの諸費用について

◆ 据置期間中の費用や年金支払期間中の費用など契約者にご負担いただく費用があります。

1. 年金開始日前の費用

(ア) すべてのご契約者にご負担いただく費用

● 次の費用を控除したうえでユニット価格は計算されます。

項目	目的	費用	時期
保険契約関係費	死亡給付金・災害死亡給付金のお支払いや、ご契約の締結・維持に必要な費用	特別勘定の資産総額に対して、年率1.450%	特別勘定の資産総額に対して、年率1.450%/365日を毎日控除します
資産運用関係費	特別勘定の運用にかかわる費用です。投資信託の信託報酬や信託事務の諸費用等を含みます	各特別勘定において利用する投資信託により異なります。詳しくは、 特別勘定の種類と運用方針 についてをご覧ください。	投資信託の信託報酬は、各特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して、所定の率を乗じた金額を毎日控除します

※資産運用関係費は、主たる投資対象である投資信託の信託報酬を記載しております。また、投資信託の信託報酬の他にも、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金など特別勘定の運用に係る費用等が控除されます。信託報酬以外のこれらの諸経費等については、投資信託委託会社における運用により発生し、その運用方法によって変動することから、費用の発生前にその金額や割合などを確定させることが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、ユニット価格に反映することとなります。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することとなります。

※資産運用関係費は、運用手法の変更や運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。

(イ) 特定の場合にご負担いただく費用

● 特別勘定のユニット価格を計算した後に特定のご契約者にご負担いただきます。

項目	ご負担いただく場合	費用	時期
保険契約維持費	月単位の契約応当日の前日に既払込保険料相当額が200万円未満の場合	毎月400円	月単位の契約応当日の前日に積立金から控除します
解約控除	契約日（一時投入保険料部分については、その責任開始時の属する日）から解約日・一部解約日の翌営業日までの経過年数が10年未満の解約または一部解約の場合（契約日（一時投入保険料部分については、その責任開始時の属する日）から10年以上経過後に解約・一部解約する場合には解約控除はありません）	契約日（一時投入保険料部分については、その責任開始時の属する日）からの経過年数に応じ、既払込保険料相当額に対して6.0%～0.6%の解約控除率を乗じた金額	解約・一部解約時にお支払いする積立金から控除します

2. 年金開始日以後の費用

項目	費用	時期
保険契約関係費	年金年額に対して1.0%*	年金開始日以後、年金支払日に責任準備金から控除します

* 上記の率は、将来変更となる可能性があります。

ご契約者にご負担いただく諸費用の合計額は、上記の「保険契約関係費」と「資産運用関係費」の合計です。なお、既払込保険料相当額が200万円未満の場合には「保険契約維持費」、契約日から10年未満の解約・一部解約の場合には「解約控除」がかかります。

1. 市場概況

◆国内債券◆

国内債券市場では、長期金利は、日銀の許容変動幅の上限である0.25%近辺で推移した後、12月金融政策決定会合での許容変動幅拡大を受け、0.5%台まで上昇しました。その後、日銀が金融緩和政策の継続を決定したこと等から金利は低下し、10年国債利回りは前年度末対比0.110%高い0.320%で引けました。

◆国内株式◆

国内株式市場は、世界的な金融引き締め加速観測等により6月中旬にかけて軟調に推移した後、円安進行による業績改善期待等から8月中旬にかけて急反発しました。その後、世界的な利上げペース加速に対する警戒感等から9月下旬にかけて大きく下落した後、米インフレ指標の鈍化を受けたFRBの金融政策転換への期待等から下値を切り上げる展開となりました。年末にかけて日銀の許容変動幅拡大を受けて急速に円高が進行したこと等から再び下落しましたが、年明け以降は、円高の一服や東証の企業価値向上策への期待等から上昇基調で推移し、日経平均は前年度末対比220円高い28,041円で引けました。

◆外国債券◆

米国債券市場では、長期金利はインフレ抑制を企図したFRBによる急速な利上げを受けて10月下旬にかけ上昇基調で推移した後、インフレ鈍化による利上げペース鈍化観測とそれに対するFRB高官の牽制発言が交錯するなか、経済指標の強弱を受けて金利は上下に振られる展開。米国10年債利回りは前年度末対比1.129%高い3.470%で引けました。

◆外国株式◆

米国株式市場は、ウクライナ情勢の緊迫化と欧米各国のロシアへの経済制裁、世界的インフレを受けた各国中銀の急速な利上げとそれを受けた景気後退懸念が株価の下落圧力となった一方、市場予想より良好な企業決算や底堅い米個人消費の持続、FRBのハト派化観測による局所的な反発局面を挟むことで上下に振れながら推移し、NYダウは前年度末対比1,404ドル低い33,274ドルで引けました。

◆為替◆

為替については、FRBの利上げによる内外金利差拡大を受けて円安が進行した後、FRBの金融引締め鈍化観測や12月の日銀によるYCC上限引上げからやや値を戻し、対ドルでは前年度末対比11円14銭安の133円53銭で終わりました。また、欧州でも同様の内外金利差拡大等により12月にかけて円安が進行し、対ユーロでは前年度末対比9円02銭円安の145円72銭で終わりました。

2. 保有契約高（2022年度末）

（単位：件、百万円）

区分	件数	金額
一時払変額個人年金保険（災害1割増型）	26	103

- ・保有契約高には、年金開始後契約等の一般勘定部分を含めています。
- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

3. 特別勘定資産の内訳（2022年度末）

（単位：百万円、%）

区分	投資信託		短期金融資産等		合計	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
0401 バランス型（株式20）	32	116.0	△4	△16.0	27	100.0
0402 バランス型（株式40）	39	96.1	1	3.9	40	100.0
0403 バランス型（株式80）	67	96.8	2	3.2	69	100.0
0405 日本株式型	48	96.2	1	3.8	50	100.0
0407 外国株式型	143	98.2	2	1.8	146	100.0
0409 日本債券型	1	96.1	0	3.9	1	100.0
0411 外国債券型	25	99.0	0	1.0	26	100.0
0412 マネー型	-	-	0	100.0	0	100.0

- ・短期金融資産等のマイナスは、負債側の数値を控除して表示していることによります。
- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。
- ・比率は、特別勘定資産合計に対する割合です。また、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

4. 特別勘定の運用収支

(単位：百万円)

区分	0401	0402	0403	0405		0409	0411	0412
	バランス型 (株式20)	バランス型 (株式40)	バランス型 (株式80)	日本株式型	外国株式型	日本債券型	外国債券型	マネー型
利息配当金等収入	1	-	-	1	1	0	0	-
有価証券売却益	-	-	-	0	-	0	-	-
有価証券償還益	-	-	-	-	-	-	-	-
有価証券評価益	9	16	39	24	105	0	9	-
為替差益	-	-	-	-	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-	-
有価証券売却損	0	-	-	-	0	-	0	-
有価証券償還損	-	-	-	-	-	-	-	-
有価証券評価損	13	17	40	23	109	0	10	-
為替差損	-	-	-	-	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の費用	-	-	-	-	-	-	-	-
収支差額	△ 1	△ 0	△ 0	2	△ 2	△ 0	△ 0	-

・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

5. 特別勘定の運用実績

各特別勘定の運用実績につきましては、次ページ以降をご参照ください。

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

バランス型(株式20)

コード:0401

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+1.01%、直近1年で-4.76%、設定来で+21.94%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行いました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行う方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	12,194.30612785	直近1カ月	+1.01%
2023年2月末	12,072.44047609		
2023年1月末	12,145.69289398	直近3カ月	+1.83%
2022年12月末	11,975.12189204		
2022年11月末	12,225.81553758	直近6カ月	+1.18%
2022年10月末	12,104.95586624		
2022年9月末	12,052.11161742	直近1年	-4.76%
2022年8月末	12,397.96616479		
2022年7月末	12,489.79728301	直近3年	-1.92%
2022年6月末	12,329.07268503		
2022年5月末	12,542.84498029	設定来	+21.94%
2022年4月末	12,535.10923656		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託:三菱UFJ MV20VA(適格機関投資家限定)

設定・運用:三菱UFJ国際投信株式会社

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

バランス型(株式40)

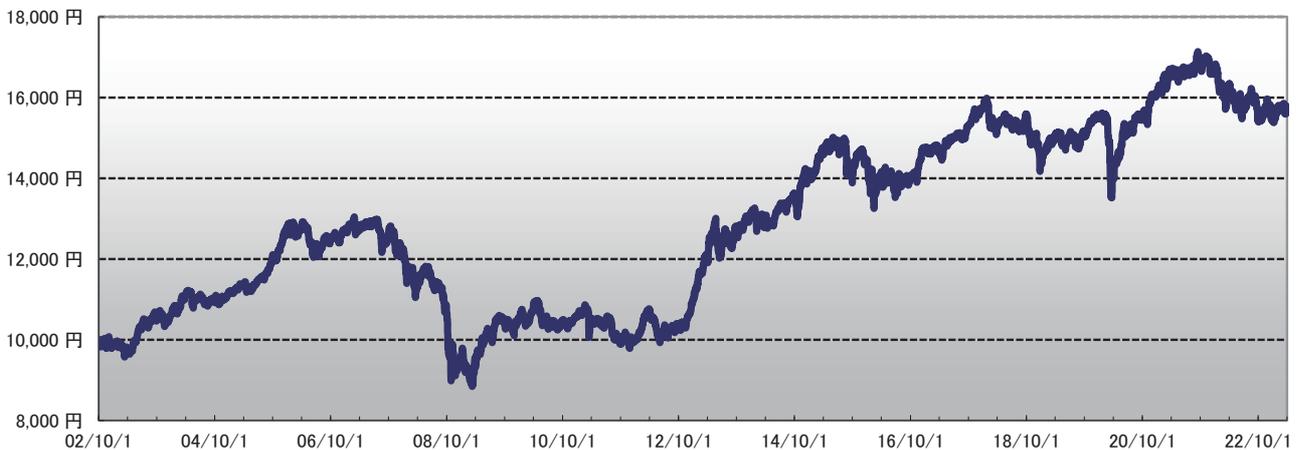
コード:0402

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+0.47%、直近1年で-3.44%、設定来で+57.89%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行いました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行う方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	15,788.53608949	直近1カ月	+0.47%
2023年2月末	15,714.63479526		
2023年1月末	15,736.00581824	直近3カ月	+2.46%
2022年12月末	15,409.16951741		
2022年11月末	15,846.09340468	直近6カ月	+2.00%
2022年10月末	15,636.01714534		
2022年9月末	15,478.68794344	直近1年	-3.44%
2022年8月末	15,967.56168687		
2022年7月末	16,002.75022158	直近3年	+9.92%
2022年6月末	15,774.12463768		
2022年5月末	16,000.98385846	設定来	+57.89%
2022年4月末	15,901.05083121		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託:三菱UFJ MV40VA(適格機関投資家限定)

設定・運用:三菱UFJ国際投信株式会社

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

バランス型(株式80)

コード:0403

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-0.84%、直近1年で-1.73%、設定来で+143.04%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行いました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行う方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	24,304.21081791	直近1カ月	-0.84%
2023年2月末	24,509.44979705		
2023年1月末	24,286.74860206	直近3カ月	+3.62%
2022年12月末	23,454.45571299		
2022年11月末	24,420.68196712	直近6カ月	+4.06%
2022年10月末	23,973.03981427		
2022年9月末	23,355.65245083	直近1年	-1.73%
2022年8月末	24,320.37532156		
2022年7月末	24,137.74799443	直近3年	+37.29%
2022年6月末	23,690.46567917		
2022年5月末	24,036.94892120	設定来	+143.04%
2022年4月末	23,705.09965500		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
 ・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託:三菱UFJ MV80VA(適格機関投資家限定)
 設定・運用:三菱UFJ国際投信株式会社

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

日本株式型

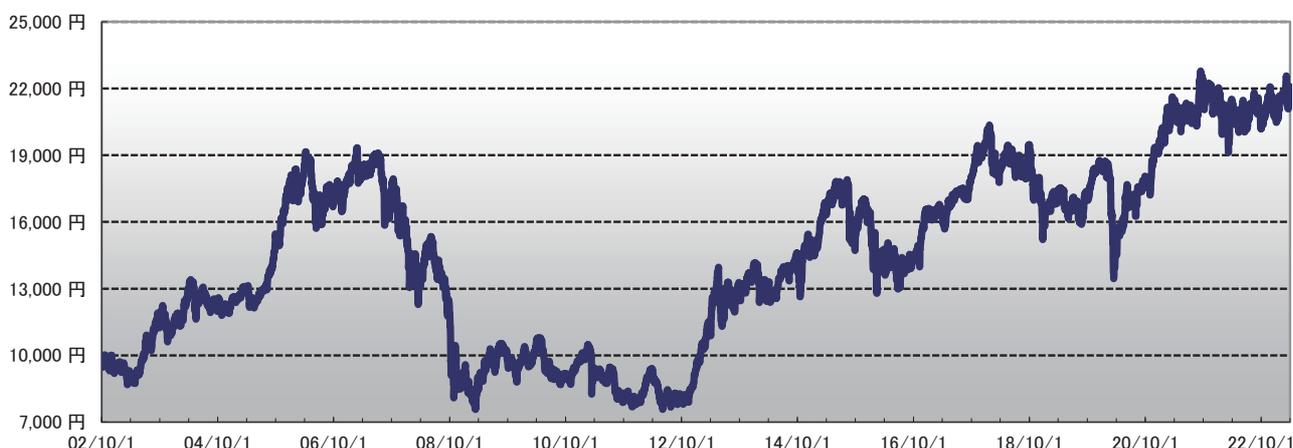
コード:0405

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+1.49%、直近1年で+3.82%、設定来で+120.92%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行いました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行う方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	22,091.74752672	直近1カ月	+1.49%
2023年2月末	21,768.30908900		
2023年1月末	21,603.40285112	直近3カ月	+6.59%
2022年12月末	20,725.30436765		
2022年11月末	21,720.18928905	直近6カ月	+9.43%
2022年10月末	21,150.41134012		
2022年9月末	20,188.73117543	直近1年	+3.82%
2022年8月末	21,352.4652331		
2022年7月末	21,140.36260083	直近3年	+43.93%
2022年6月末	20,439.57957816		
2022年5月末	20,882.05524914	設定来	+120.92%
2022年4月末	20,760.49646286		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託:三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA(適格機関投資家限定)

設定・運用:三菱UFJ国際投信株式会社

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

外国株式型

コード:0407

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-0.70%、直近1年で-2.90%、設定来で+321.90%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行いました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行う方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	42,189.72978601	直近1カ月	-0.70%
2023年2月末	42,489.14398293		
2023年1月末	41,118.05850853	直近3カ月	+6.29%
2022年12月末	39,693.55931447		
2022年11月末	42,333.66837311	直近6カ月	+5.57%
2022年10月末	43,674.24891871		
2022年9月末	39,964.29682121	直近1年	-2.90%
2022年8月末	42,065.73804884		
2022年7月末	41,856.04480232	直近3年	+81.84%
2022年6月末	40,358.77812445		
2022年5月末	41,377.42892976	設定来	+321.90%
2022年4月末	41,557.05993111		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託:三菱UFJ 外国株式ファンドVA(適格機関投資家限定)

設定・運用:三菱UFJ国際投信株式会社

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

日本債券型

コード:0409

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+1.20%、直近1年で-3.19%、設定来で-10.05%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行いました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行う方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	8,994.88272770	直近1カ月	+1.20%
2023年2月末	8,888.22340490		
2023年1月末	8,804.73833158	直近3カ月	+1.74%
2022年12月末	8,841.23295994		
2022年11月末	8,966.05935368	直近6カ月	-0.52%
2022年10月末	9,020.35995836		
2022年9月末	9,042.04970780	直近1年	-3.19%
2022年8月末	9,147.32884677		
2022年7月末	9,180.01994526	直近3年	-8.19%
2022年6月末	9,136.03862203		
2022年5月末	9,229.27324975	設定来	-10.05%
2022年4月末	9,255.45662098		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
 ・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託: 三菱UFJ 日本債券ファンドVA(適格機関投資家限定)
 設定・運用: 三菱UFJ国際投信株式会社

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

外国債券型

コード:0411

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+1.08%、直近1年で-2.78%、設定来で+41.50%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行いました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行う方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	14,149.57001748	直近1カ月	+1.08%
2023年2月末	13,997.82067675		
2023年1月末	13,849.70925270	直近3カ月	+3.18%
2022年12月末	13,713.76627663		
2022年11月末	14,434.66311351	直近6カ月	-2.41%
2022年10月末	14,907.06903856		
2022年9月末	14,499.36913911	直近1年	-2.78%
2022年8月末	14,650.45584808		
2022年7月末	14,850.44939066	直近3年	-0.25%
2022年6月末	14,772.81444075		
2022年5月末	14,456.09877534	設定来	+41.50%
2022年4月末	14,564.15141378		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
 ・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託: 三菱UFJ 外国債券ファンドVA(適格機関投資家限定)
 設定・運用: 三菱UFJ国際投信株式会社

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

マネー型

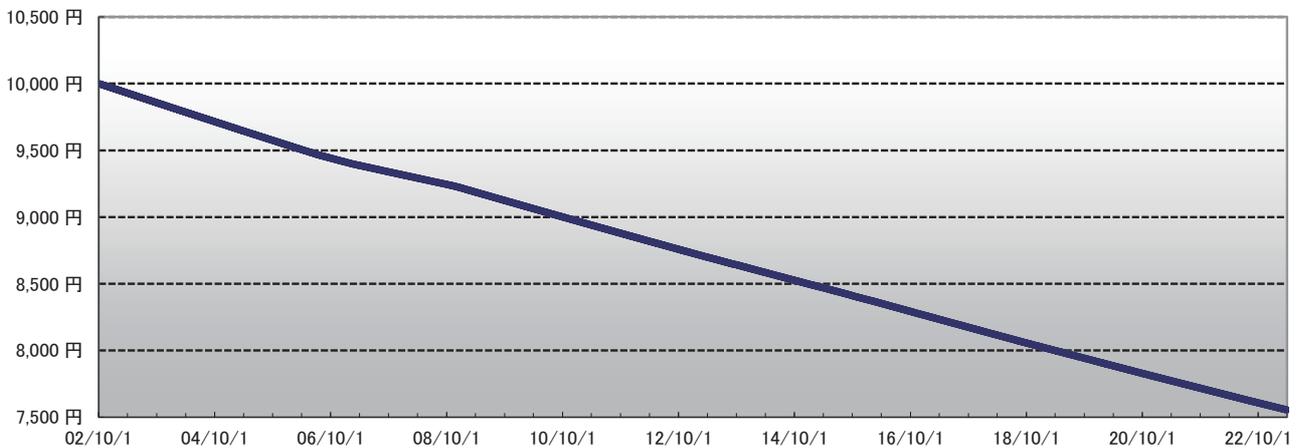
コード:0412

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-0.12%、直近1年で-1.41%、設定来で-24.46%でした。
運用方針に従い、コールローン等の短期金融資産に投資し、安定した利息収入を追求します。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	7,553.89642802	直近1カ月	-0.12%
2023年2月末	7,563.00748932	直近3カ月	-0.35%
2023年1月末	7,571.23683502	直近6カ月	-0.70%
2022年12月末	7,580.34789632	直近1年	-1.41%
2022年11月末	7,589.45895762	直近3年	-4.20%
2022年10月末	7,598.27611372	設定来	-24.46%
2022年9月末	7,607.38717502		
2022年8月末	7,616.20433112		
2022年7月末	7,625.31539242		
2022年6月末	7,634.58259087		
2022年5月末	7,643.67528309		
2022年4月末	7,653.07106506		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

お問い合わせ、ご照会は

<p>募集代理店</p>	<p>引受保険会社</p> <p>明治安田生命保険相互会社</p> <p>本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1</p> <p>電話 03 (3283) 8111〔代表〕</p> <p>ホームページ https://www.meijiyasuda.co.jp/</p>
--------------	---